

協議事項 3. 令和 6 年度 飛騨市公共交通会議会計予算案及び事業計画案について

令和 6 年度 飛騨市公共交通会議会計 予算書(案)

(収入)

(単位 円)

項 目	予 算 額	明 細
負 担 金	1,684,000	飛騨市公共交通運営負担金 飛騨市
諸 収 入	40,000	1日乗車券（電子）販売分、預金利息等
計	1,724,000	

(支出)

(単位 円)

項 目	予 算 額	明 細
報 償 費	208,000	会議謝礼 108,000
		公共交通アドバイザー謝礼 年間 100,000
旅 費	80,000	会議出席時交通費 80,000
需 用 費	50,000	
消耗品費	40,000	事務用消耗品 40,000
食糧費	10,000	会議時飲み物代 10,000
役 務 費	10,000	
手数料	10,000	振込手数料 10,000
委 託 費	1,160,000	
時刻表作成	1,160,000	時刻表、路線図作成委託 1,160,000
事 業 費	191,000	
乗車券事業	41,000	バス乗車券負担金 20,000
利用促進事業	150,000	新公共交通網利用促進事業 150,000
予 備 費	25,000	
計	1,724,000	

実施項目	施策		事業	番号	区分	実施予定時期	令和6年度 実施計画	進捗状況
1 地域公共交通の整備・運行	地域公共交通の運用		・地域公共交通の運用	1	継続	4月	バスアナウンスシステムの本格運用への意向 ①システム試験導入路線における本格運用への移行	①新年度利用契約済、試験継続中
	その他の移動手段の支援		・地域公共交通網を補完する移動手段の創出及び維持に対する支援	2	新規	4月～	●ドライバー確保に向けた取組 ①市内交通事業者と連携し、バス、タクシードライバー不足解消のための抜本的な体制づくりに向けた方針を策定する。また、ドライバー確保に対する市の支援策を拡充する。	①タクシー事業者との検討会議を実施し、課題整理
2 利便性の向上	交通結節点の整備・維持		・利用環境の利便性向上 待合所・ベンチなどの設置 バス停の更新 等	3	継続	9月	交通拠点整備に向けた取組 ①スカイドームターミナルに向け関係者協議のうえ基本設計を行う ②飛騨古川駅バス待待合所にモニター等設置し、のりばの再編を行う	①関係者協議中 ②飛騨古川駅バス待待合所前、各振興事務所に大型路線図設置済み
	企画乗車券の発行		・ひだまる定期券、1日乗車券、シルバーフリー定期券、回数券等の運用	4	継続	10月	各機関との連携した企画チケット導入に向けた取組 ①高山市、濃飛バスと連携した広域バス乗車券導入準備 飛騨市定期券の見直し ②新定期券の購入状況分析 ③定期券の電子チケット化	②新定期券の運用開始（4月～） ③電子チケット発行事業者との協議済
	車両の更新と整備		・利便性を高める車両の導入	5	-	実施なし	—	—
			・ラッピング等のデザイン	6	新規	9月	●ひだまるバスキャラクターの掲示 ①バスキャラクターをバス車両に掲示	①キャラクター総選挙の実施（6月末まで）
	地域公共交通の基本的な情報提供		・バス停や待合等におけるわかりやすい案内掲示	7	継続	6月	バスロケーションシステムの運用 ①システム試験稼働中であるかみおかぐるりんバスの運用開始 ②幹線導入に向けた方針の決定	①R6年度利用契約済
			・総合地域公共交通マップの発行	8	継続	9月	ダイヤ改正に合わせ時刻表を更新 ①時刻表等の設置による公共施設等での情報発信の拡充	①10月ダイヤ改正に合わせた路線図・時刻表更新準備
			・地域、属性などの対象者ごとの時刻表発行	9	継続	9月	・上記総合ガイド発行時に合わせて作成	・上記総合ガイド発行時に合わせて作成
			・市のHP・広報等による情報発信	10	継続	7月	わかりやすい情報発信 ①市公共交通HPをさらに改修 ②時刻表提供コーナーを各公共施設に配備	①新HPの公開準備中
3 利用促進	日中利用の促進	利用していない市民に対する利用促進	・市の広報、集会等での説明による、地域公共交通の必要性についての意識啓発	11	継続	9月	市職員ノーマイカーデーの継続、効果分析 ①市職員対象のノーマイカーデーの効果を検証しながら市内企業へ参加推進する	①市職員対象ノーマイカーデー継続実施
			・市民と協働したイベントの開催（市民バスツアー、セミナー等）	12	継続	随時	市内イベントへの出展	・出展イベントの選定
			・免許返納者へのインセンティブの付与	13	継続	令和7年度以降	免許返納者への支援策の導入 ①精算時における業務負担軽減の観点から、助成券等のDX化を検討	・いきいき券事業を継続実施 ・既存定期券制度改正を含め内部協議
		利用している市民に対する利用促進	・目的地施設と連携した企画チケット等の検討	14	継続	7月	電子チケットの拡充 ①山之村牧場と連携した企画チケットの電子化	①山之村牧場との協議済

実施項目	施策		事業	番号	区分	実施予定時期	令和６年度 実施計画	進捗状況
３ 利用促進	日中利用の促進	利用している市民に対する利用促進	・市民と協働した利用促進の検討	15	新規	６月	●ひだまるバスキャラクターの決定 ①古城高校生と連携したキャラクター総選挙の実施	①ひだまるキャラクター総選挙の実施（投票期間：6月末まで）
	通学利用の促進		・中高生とその保護者に対する説明会の実施	16	新規	９月	市内中高生への意識啓発、利用促進 ①飛驒神岡高校とのワークショップを実施 ②高校1日入学無料券配布事業継続 ●市内中学校部活動の地域化移行に向けた移動手段の検討（市教育委員会との連携） ③令和8年度に完全移行予定の中学部活動の地域クラブ活動化に向け、市教育委員会と連携し、生徒の移動手段確保に向けた基本方針を策定する	①令和６年度通学調査（飛驒神岡高校、古城高校）を実施 ③地域部活動化検討会議において、市公共交通の現状を説明済
３ 利用促進	来訪者に対する地域公共交通情報の提供	初めての人も利用できる情報提供	・系統番号・路線番号・カラーリングの導入	17	新規	９月	●バス停標柱のリニューアルに向けた準備 ①キャラクター決定後、ロゴデザイン決定	①ひだまるキャラクター総選挙の実施（投票期間：6月末まで） ・系統番号、カラーリングを決定し、現行の路線図及び時刻表に反映済 Googleマップで表示される経路の色も連動。
		観光客向けの情報提供	・案内等の多言語化促進	18	継続	９月	外国人向けのバス情報提供 ①外国語版バス乗り案内チラシ及び時刻表をHP、観光施設に配備 ②外国語版時刻表の作成	①英語、ベトナム語、中国語、韓国語のバス乗り案内チラシを作成済
			・観光客が利用しやすい停留所への改良（名称、設置場所等）	19	継続	９月	観光施設へのアクセスしやすい環境整備 ①観光施設へのアクセス等情報がわかるよう案内表示を設置（交通拠点整備に合わせて実施）	①飛驒古川駅バス待待合所前に大型路線図設置済み
			・観光客向け時刻表・パンフレットの制作	20	継続	９月	バスを移動手段とした観光モデルコースの策定 ①モデルコース拡充し、観光HPにて紹介	①市まちづくり観光課、観光協会との意見交換会を実施済 観光マップの更新作業中（バス情報掲載）
	市民・事業者等の自主的な取り組みの支援		・市民や事業者等が主導して行う地域主導型利用促進事業の支援	21	継続	９月	公共交通セミナーの実施 ①10月改正予定の河合・宮川町地域において公共交通網説明会を実施 ②バスの乗り方教室を兼ねた新公共交通網ツアーを実施	①河合町・宮川町の公共交通網再編内容を協議中
４ 評価・改善	地域公共交通における評価・検証の実施	・評価・検証事業（乗降調査・利用者アンケート等）		22	継続	随時	利用調査の継続実施 ①利用調査に置き換えて全路線の乗込調査を実施	①継続して乗込調査を実施
		・市民アンケート調査 運行状況等の点検 等		23	継続	随時		
	継続的な市民参加の仕組みづくり	・住民意見交換会による運行改善に関する協議等		24	新規	随時	●古川地区の公共交通網再編に向けた意見交換会の実施 ①古川地域を重点地域とし、地域内の交通網再編のため各地域と意見交換会を実施する	①飛驒古川駅到着後、古川町郊外へのバス路線整備について協議中
		・利用実績の地域へのフィードバック		25	継続	随時	広報ひだによる情報発信 ①広報ひだの連載記事として公共交通を取り上げ、定期的な情報提供を実施	①ダイヤ改正情報、新定期券運用開始おいて、広報、チラシ発行し発信済
	先進的な手法や技術の導入検討	・先進技術に関する情報の収集		26	継続	随時	積極的な公共交通セミナー等の参加（市担当者） 福井県：日本モビリティマネジメント会議への参加 大阪府：交通権学会への参加	参加申込済
		・他自治体の好事例の研究		27	継続	随時	他自治体の公共交通会議出席 ・三重県鳥羽市・紀北町・静岡県吉田町（予定）	5月：三重県鳥羽市・紀北町、愛知県一宮市 公共交通会議に出席

●令和６年度 路線見直し重点路線

路線名	見直し時期（目標）	見 直 し 方 針
畦畑線	令和７年１０月	今後の地域別の人口推移や利用状況を詳細に分析し、通学・通院・買い物の移動手段は確保しつつ将来を見据えた古川町全域の地域公共交通網を再構築する。
太江線		
桃源郷線		